



シルバー人材センターシンボルマーク

このマークは、全国のシルバー人材センターで働く高齢者が広く連携し、共に働き、共に助け合っていくことをめざして作成したものです。

デザインは、シルバー（Silver）の「S」とセンター（Center）の「C」で飛翔する鳥と、動き出す人の姿を表現しています。

# シルバー安曇野

第56号

平成30年1月1日

発行

公益社団法人

安曇野シルバー人材センター

住所

安曇野市豊科 4155-1

TEL 0263-72-5800

FAX 0263-73-6484



雪の蓼川と水車

## 新年のご挨拶

理事長 佐々木 胤明

新年明けましておめでとう  
ございます。

会員の皆様には、平成三十年の新春をお健やかに迎えることと心よりお喜び申し上げます。また、安曇野市ならびに地域の皆様におかれましては、シルバー人材センター事業に、ご支援ご理解をいただき、感謝し御礼申し上げます。

さて昨年は、異常気象、台風等により、全国各地に甚大な被害をもたらしましたが、幸い当地域に於きましては、農作物の被害も無く収穫することができました。そして、平成二十九年度も「安全は全てに優先する」「怪我をしない・させない」を合言葉に取り組みしましたが、事故件数は減少したものの注意すれば防げる事故がありました。

今後も皆で、安全就業に心がけていただくようお願い申し上げます。

新年に当り、安曇野市の発展と会員並びにご家族の皆様のご多幸ご健勝をお祈りし、ご挨拶とさせていただきます。





# 新年のご挨拶

安曇野市長 宮澤 宗弘

明けましておめでとうござい  
ます。皆様方におかれましては  
希望に満ちた輝かしい新年をお  
迎えることと心からお喜び申し  
上げます。旧年中は佐々木理事  
長をはじめ安曇野シルバー人材  
センター役員並びに会員の皆  
様には、市政全般にわたり格別  
のご理解とご協力を賜り、厚く  
御礼を申し上げます。

貴センターに、毎年多くの仕  
事が市民や企業から寄せられて  
おりますことは、会員の皆様へ  
の期待と信頼の表れであり、卓  
越した技能を地域社会に活かす  
ための取組みに敬意を表します。  
少子高齢化が急速に進む今日  
において、その活動は、就業を  
通じて地域の活性化や福祉の向  
上に寄与されており、高齢者の  
健康維持や社会参加の促進等、  
高齢者社会を支える中核的な組

織として担っていただく役割  
は、一層重要なものとなってお  
ります。

好景が続いているといわれ  
ていますが、地域経済や雇用情  
勢は、まだまだ厳しい状況です。  
多様化する高齢者の就業ニーズ  
に対応しながら、生きがいづく  
りの推進に一層ご尽力いただき  
ますようお願い申し上げます。

市といたしましては市の重点  
施策の一つであります「健康長  
寿のまちづくり」の一環として、  
今後もシルバー人材センターの  
運営を支援して参りたいと考  
えております。

結びに、安曇野シルバー人材  
センターの益々のご発展と平成  
30年が会員の皆様にとって、健  
やかで実り多い一年であります  
ことをご祈念申し上げます、年頭の  
ご挨拶といたします。

## 役職員視察研修に参加して

理事 北林 幹男

10月26・27日の両日、当センタ  
ー役員による視察研修が行われ  
ました。参加者は理事・監事11名、  
事務局3名の14名です。

今年度は県外で新潟県三条市シ  
ルバー人材センターと燕市シルバ  
ー人材センターを視察しました。  
視察目的は、両センターとも全国  
に先駆けて、福祉事業の介護・子  
育て支援を手がけていますので事  
業内容や状況を研修しました。  
三条市の人口は安曇野市と同じ  
九万九千余で、シルバーの会員数  
は一千人余です。

介護事業は、訪問型サービスA  
型で一定の研修を受け、修了した  
会員が調理・清掃・買い物等の生  
活を支援する。身体介護は行わな  
いとのこと。昨年の利用件数は  
56件ですが今年度は現在までで  
58件と年々増加しています。

子育て支援は、市の施設で一時  
預かりや休日保育を実施、一般家  
庭は一時保育や学校までの送迎を  
行う等で利用が増えています。  
燕市は人口が八万余、シルバ



燕市シルバー人材センターでの研修

会員は五百七十人余です。  
独自事業として介護予防訪問型  
サービスで、サービス内容は三条  
市シルバーと同じでした。  
今年度から市のふれあい館を活  
動拠点として介護予防通所型サ  
ービスを発足させて活動していま  
した。

今後シルバー人材センターを取  
り巻く環境は一層厳しくなると思  
われますので、当シルバー人材セ  
ンターが新規事業の一つとして福  
祉事業参入を検討するのに大変有  
意義な視察研修でした。

## 今年も、親切・丁寧な仕事で 地域から信頼される シルバー人材センターを目指しましょう みんなで、『危険ゼロ』『事故ゼロ』を 目指しましょう

明けましておめでとうござい  
ます

本年もよろしく  
お願いいたします

理事	佐々木 胤明	副理事	飯沼 常雄	専任理事	赤羽 孝明	事務局長	野本 洋一	事務局長	山田 詔一	事務局長	小林 義明	事務局長	竹原 徳治	事務局長	那須野 卯久	事務局長	広田 万寿美	事務局長	北林 幹男	事務局長	嶋崎 紘次	事務局長	小松 治	事務局長	山田 裕也	事務局長	深田 武雄	事務局長	石田 一
----	--------	-----	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	--------	------	--------	------	-------	------	-------	------	------	------	-------	------	-------	------	------

## 前年度を若干上回る契約額

平成29年度 事業実績 (4月~10月)

4月から10月までの契約額の実  
績は、3億9398万円で、対  
前年度比100.6%と、金額で  
230万円の増加となりました。  
これは、剪定、除草、農業等一般  
家庭での受注の増加や、急速に進  
む少子高齢化、人口減少による人  
手不足等が背景にあり、当セン  
ターへの就業が増加していると考  
えられます。

なお、会員数については、8月  
に「会員募集チラシ」の全世帯へ  
の配布や会員自らが新会員を紹介  
する募集活動を行った結果、前年  
度に比べ6人増となりました。

今後、会員の皆様のご協力を  
いただきながら、会員の増加と就  
業の機会の確保を図っていきま  
すので、一層の支援をお願いします。  
また、シルバー派遣事業や昨年厚  
生労働省から示された「適正就業  
ガイドライン」に沿った業務運営  
の推進を図っていかねばいけ  
ません。会員皆様のご理解ご協力  
をお願いします。

### 10月までの事業実績

区分	平成 29 年度 (10 月末)	平成 28 年度 (10 月末)	増 減	対前年比
会員数	933 人	927 人	6 人	100.6%
受注件数	3,475 件	3,479 件	△ 4 件	99.9%
契約金額	39,398 万円	39,168 万円	230 万円	100.6%
内訳 公共	6,147 万円	6,345 万円	△ 198 万円	96.9%
〃 民間事業所	25,027 万円	25,151 万円	△ 124 万円	99.5%
〃 一般家庭	8,224 万円	7,672 万円	552 万円	107.2%

事務所案内看板設置

当センターも豊科保健センターに引越しをして、早2年半が経過しました。この間、案内看板も多くの会員の皆様には、事務所が「わからない、わかりにくい」というような意見をいただき、ご迷惑を掛けてきました。

また、市民の皆様からも、看板設置のご意見もいただきました。

そこで、広く市民の皆様シルバー人材センターを知っていただくことと、就業拡大・会員拡大に繋がることを目的に9月末に事務



設置された看板

所案内看板を設置しました。事務所にお越しの際はご覧いただきたいと思います。

安全・適正就業標語 最優秀賞受賞



授賞式

「事故のもと 慣れと過信と思ひこみ」

10月19日に塩尻総合文化センターにおいて行われた、長野県シルバー人材センター連合会主催の安全・適正就業推進大会において当センター会員の広田万寿美さんの標語が応募総数670作品の中で最高の最優秀賞に選ばれ表彰されました。

当シルバー人材センターにおいても初の快挙であり大変喜ばしいことです。標語募集の趣旨は、安全の確保、適正な就業について高齢者ならではの心構え、取組み、集団での安全啓発を図るため、意識の高揚を図り、事故の撲滅に役

今年は安曇寮

穂高地区

竹原 徳治



去る10月10日安曇寮（養護老人ホーム）にて穂高地区ボランティア

活動が実施されました。

草取り、草刈り、剪定伐採が主体でした。小林理事より挨拶を受けそれぞれに作業に就きました。天候に恵まれ作業は順調に進みました。畑の草の中から落花生が

ひょっこり出てきたり、足場の悪い川辺の草刈りでは、清水の中に足を浸けたり、高枝を上手に切り落とすところを見せてもらったり楽しく作業をすることができました。作業後、寮長丸山さんのお礼と感謝の挨拶を受け、おいしいコーヒーとお菓子をいただき、無事にボランティア活動が終了となりました。

お忙しい中ご都合をつけ参加されました会員の皆様に感謝を申し上げます。



センターのPRも兼ねて

三郷地区

務台 一之



例年行われているボランティア活動が、三郷地区は本年も10月1日に

行われました。この活動は、平素お世話になっている地域やそこに生活している皆様へのお礼と、シルバー人材センターのPRを兼ねて行われているものです。当日は10月にしては異例の寒さの中、オーバースポンス等身につけた50名近くの会員が、朝6時に三郷福祉センターの前庭に集まり、佐々木理事長並びに社協の伊藤支所長のあいさつを受けた後、草取りや剪定の作業に取り掛かりました。

大勢の力は凄いものです。見る見るうちにツツジの植え込みの中が綺麗になり建物敷地の周辺に植栽されている桜の木等の高木も伸びた枝が剪定されました。スッキリとしたたまたまの福祉センターを見ていると、早朝1時間ほどの作業でしたが、朝のキリリとした空気の中、身も心も清々しい心地となりました。こうした活動を通じ益々会員同志の連帯が深まり、更にはシル

福祉移送サービス 技能講習会開催

長野県シルバー人材センター連合会が主催する福祉移送サービス運転者講習会が8月23日から4日間の日程で当センター等において開催されました。

この講習会は、人手不足分野や現役世代を支える分野で活躍いただくため、シルバー人材センターでの就業を前提とし、福祉・介護



講習風景

立てるものです。広田さんにお祝い申し上げるとともに、この標語のように作業には気を使い、無事故で安全な就業をお願いします。

バー人材センターに対する期待が高まることを願うものです。私も、このボランティア活動への参加は、今回で6回目となります。今後も会員でいる限り参加したいと思えます。

シルバー人材センターに入会して

堀金地区

北林 芳正



私は今年4月よりシルバー人材センターに入会し剪定班に入りました。

初めは剪定枝等の片付けをしていました。剪定講習会に行っただけがいいよと言われ、大町市で7月に開催された庭木剪定講習会に参加して座学、剪定実技講習を受けました。短い時間でしたが剪定作業の基本的な事を学びました。シルバー人材センターの行事としては総会、草刈り講習会、ボランティア活動に参加しました。毎日の作業でも先輩方にご指導をいただき毎日が充実しています。少しずつ剪定作業も行うようになりまし。少しずつ道具等も揃えて長く仕事を続けていきたいと思えます。リサイクルセンターなどへ行く事もありますが安全運転に注意

ボランティア活動に参加して

ご近所病院での活動

豊科地区

古幡 菊子



10月の天候は、台風の日本列島への接近により降雨の日が多く不順でしたが、当日10月11日は、好天に恵まれた中で、シルバー啓発促進月間に併せて「県立こども病院」で活動を行いました。会員26名参加のもと広い敷地内で、剪定作業、草取り作業など行い、更に今回は建物まわりの清掃作業も含め、手分けして2時間ほどかけて行い、すっかりきれいになりました。こども病院では、毎年10月中旬に「県立こども病院まつり」が開催され大勢の来院者が訪れるということに喜ばれ感謝されました。地域社会への貢献や、絆を深めるよい機会となりました。

妻と参加して

明科地区

大堀 忠一



初秋の10月シルバー人材センター事業普及啓発月間に合せ行われ

し、作業でも安全に注意していきたいと思えます。

た、恒例のボランティア活動に妻と2人で参加をさせていただきました。当日は曇天の中、多くの仲間の方々が龍門測公園に集まりました。そして担当理事より作業内容の説明を受け、午前8時30分から作業を始め、10時30分まで除草作業を全員で行いました。額に汗しての作業、地域社会への恩返しの一環としてのボランティア活動、まさに奉仕と感謝の気持ち、実に素晴らしいことだと思えました。そして、美しい自然を守り育てることであります。一方、ボランティア活動を通じて働く多くの仲間同志の連帯意識がより強化に繋がることだと思います。最後に、このようなボランティア活動が地域に一層愛され信頼されるよう、今後のボランティア活動に積極的に参加をしたいと思えます。

# 平成29年度 安全・適正就業パトロール実施

## 安全

適性就業委員会では、7月19日から27日に5

地区ごとに、安全パトロールを実施しました。本年度も、委員会での提言を基に「抜き打ち」で事故の多い剪定作業、草刈り機使用作業現場のパトロールを実施しました。各現場では、安全基準を遵守し、安全を確保しながら作業を行っていました。しかし、一部の現場では、以下の指摘事項がありました。

- ① 「安全意識」においては、安全ミーティングを実施し安全に対する意識を高めていたが、防暑対策が不十分な現場があった。
- ② 「保護帽の着用」では、剪定者や草刈りのネットを持っていない者が未着用があった。落下の危険・木の倒木・飛び石等の危険があるためヘルメットの着用を徹底する必要がある。
- ③ 「安全用具・対策等」では、剪定現場でバリカン使用時に防塵メガネを着用していない、8尺

脚立の天板に立ったり、転倒防止策が無い現場もあった。草刈り現場では、草刈り機の飛散防止カバーの取り付け位置が悪い、通行者に石が飛ぶ方向に刈っている、作業員が10メートル離れていない現場があった。

## これ

らの指摘事項を改善して、「安全は、全てに優先する」を再度確認していただき事故の無い安全就業に努めてください。



パトロール中

## 平成29年の配分金 支払い証明書について

平成29年1年間（1月振込～12月振込まで）の配分金支払い証明書を1月10日頃、圧着ハガキでご自宅に郵送いたします。

## 配分金及び派遣給与の振込日

- 1月分は2月20日（火）
- 2月分は3月20日（火）
- 3月分は4月20日（金）
- 4月分は5月18日（金）
- 5月分は6月20日（水）
- 6月分は7月20日（金）

## お悔やみ

- 堀井 賢二様 平成29年6月
  - 長瀧 文一様 平成29年7月
  - 平林 照正様 平成29年8月
- ご逝去を悼み、心よりご冥福をお祈りいたします。

## 編集後記

◆平成30年の年頭に当り会員の皆様  
が健康で安全に就業ができることを  
祈念いたします。

◆平成29年、一年間日本全国各地で  
は大きな自然災害による多くの被害  
が起きました。被災地の皆様には一  
日も早く復興されることを願うとこ  
ろでございます。

◆昨年10月19日に長野県シルバ－人  
材センター連合会に依る29年度安  
全・適正就業推進大会が塩尻総合文  
化センターで行われ出席しました。  
その中で昨年起きた作業中の事故の  
事例が発表され、ある地域で、草刈  
機で作業中小石を飛散させ駐車中の  
車両3台の窓ガラスやボデーを損傷  
したとの報告があり私共大変ショッ  
クを受けました。作業前の周辺の状  
況確認、安全確認等を十分に行い絶  
対事故を起こさないことを念頭に作  
業していただきたいと思えます。

◆調査、広報部会では会員の皆様の  
ご要望、ご意見等を募集して居りま  
す。お気軽にお寄せください。

◆今年一年間会員の皆さんが元気で  
お互い協力しながら安全に就業でき  
ることを願っています。

- 嶋崎 紘次、小林 義明
- 那須野卯久、北林 幹男